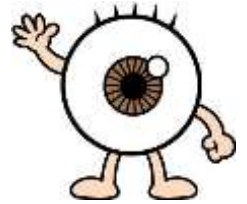




目を大切に ～目のけが（打撲・異物）など～

目は直径 23mm程度の小さな眼球（ピンポン球～ゴルフボール位）と、それを動かす筋肉や保護するまぶたや結膜などからできている小さな器官です。そこには物を見るうえで欠かせないいくつもの組織が精巧に組み込まれています。そのなかには、いったん損傷すると再生しなかったり、再生しても元のように働かない組織もあります。



子どもはよくけがをしますが、目のけが（打撲・異物）をした場合は専門的判断や治療が必要になる場合がしばしばです。けがをしたときに、本人は気が動転しており、すぐには「いつどのような状況で受傷したのか」ははっきりと言えないことも多いので、まずは落ち着かせてから、けがの状況をしっかりと聞き出しましょう。

小さな傷でも場所が悪い場合や症状が軽くても治療のタイミングを逃して、取り返しのつかないこともあります。特に、片方の目に異常があっても、ふだんは両眼で物を見ているので、視力低下や視野の異常に気づかないこともあります。


片目をふさいで必ず左右別々にチェックしましょう。

状況に応じた目のけがの応急手当てについて



お友達と新聞紙を丸めてチャンバラごっこしてたら、目に当たっちゃたよ～。痛いし、ボヤけて見えるし、目があきにくいよ～。

 黒目の傷や眼球自体・目の回りの打撲の可能性ががあります。

 見えにくさや見えないところ・目の痛みなどの自覚症状がある場合は眼科外来を急いで受診しましょう。

目をぶつけてもこれといった自覚症状がない場合は急ぐ必要はありませんので、心配ならば念のため眼科を受診し精密検査を受けましょう。





砂場で遊んでいたら、砂が目にはいっちゃった。ゴロゴロするし、目やにも出るし、目が開かないよ～。



草刈りしているおじさんを見ていたら、機械の方から何か飛んできて見えなくなったよ～。




 固形物が目または眼球内に入った可能性があります。


 目の表面や周囲のよごれ（泥・砂等）がついている場合はすぐに水道水でそれを洗い落とします。眼球に大きな傷があるような場合は無理に目を開けずに、軽くよごれを取ってください。この間目を押さえつけてはいけません。

出血している場合は、きれいなタオルやティッシュなどをまぶたの上から軽く当ててください。その後、受診しましょう。

ママのお手伝いでお風呂掃除をしていたら、洗剤が目に入っちゃったの。目が痛くてあけられないよ～。



 液体や粉末状のものが目に入った可能性があります。

 なによりもすぐに目を洗うことです。

最低 10 分以上、蛇口の水やヤカンに汲んだ水を、コップにゆっくりと水を注ぐ程度の水量で目に直接かけるか、洗面器に張った水で目をよく洗いましょう。

目をつぶっていても効果がないので、痛くてもがまんして目をあけて洗眼し、この間、目をこすらないでください。その後、受診しましょう。

なお、症状が目以外にも及ぶような大きなけがの場合には、この内容にとらわれず、すぐに救急外来を受診するか救急車を呼んでください。



ほけんだよりは、呉市のホームページでもご覧になることができます。

URL <http://www.city.kure.lg.jp/~kodosise/hoken.html>